

なきごえ



1968



大 阪 市
天王寺動物園協会

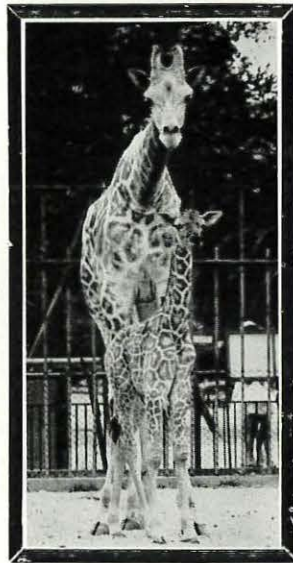
キリンの死をいたむ

昭和43年2月7日早朝のことです。昨夜室内でちょいとしたつまづきがもとで倒れて水槽の角で頸部を強打したときに骨折して、めすのキリンは死んでしまいました。このキリンの死について皆様にご紹介します。

このキリンが入園したのは昭和34年4月で、おすめす揃ってアフリカからやって来ました。前年キリンを亡くしていただけにこの新着キリン夫婦によせられた飼育係の力の入れ方は大変なものでした。37年には動物園改造5カ年計画のトップにキリン舎が出来上り、早速入居しました。広い運動場と清潔でヒーターの完備したモダンな寝室は、このキリン夫婦にすっかり気に入ったのかすぐに安定しました。日に日にたくましく育っていく姿を見る私達は、天王寺動物園ではキリンは育ちにくいといわれた永年のジンスを破って、今まで実現できなかったお産も可能ではと思わしめました。そして、ついに私達の期待に答えてくれたのです。38年のはじめに、そのきざしが見え、540日目の39年5月6日第1子のキリーちゃんを立派に産み落してくれました。そして、40年10月5日リリーちゃん。42年8月7日メリーちゃんといずれもめすを出産しました。育児ぶりも上手で、大阪市民の方々に開園50年にしてキリンの親子の睦まじい姿を見て戴くことができ、永年の私達の夢を実現してくれた貴重なキリンなのです。

このキリンが第3子のメリーちゃんを出産してから、前2回のように産後の体の回復がすみやかでないのか、私達の目については昨年11月頃からです。食欲があったので栄養剤を与えたり、飼料を増量したり、温度の調節に特に気を配ったりする一方、細菌や寄生虫の検査をたびたび行っただけですが、有害菌や寄生虫は検出されず、雲をつかむような内に治療の手がかりも得られず、日々気を使う日々を過しておりました。

今年に入ってから食欲は普通なのですが、瘦削り回復のきざしが見られませんでした。2月6日早朝にも運動場に出るときも特に変わったところも見えませんでした。夕方室内に収容してから普通の健康体ならば何でもなつまづきに体を支



死んだお母さんキリンとメリー

えきれず足をとられて倒れてしまったのです。

死因調査のための解剖の結果は、望診の通り第3第4頸椎の脱臼骨折で、これが直接の死因であることは明らかです。又、各臓器、特に心冠部脂肪の膠様変性は著明で、栄養失調を物語るに充分で、よくもこれまで瘦削して体もつらかったのに授乳を続けたものだといじらしさを覚えました。それにもまして私達を失望と落胆させたのは、第1胃における大変な量のビニールの菓子袋の停滞です。私達もキリンにお菓子をやるお客様

方に、その都度注意し、看板などでお願いはしているのですが、栄養失調の遠因がビニールの菓子袋にあったことは、何ともやるせない気持ち一杯です。

キリンはたいへん人気があるので、餌をもらう回数も多いのですがお菓子のニオイのついたビニール袋も食べてしまうのです。

キリンを含めた反雑獣には、ご存知でしょうが、胃袋が4つに分れていて、猛獣のいないまにあわてて食べた食物を第1胃におさめて、静かなところで再び口に出してよく噛んで第2胃に送ります。

キリンなどは、餌を二度噛みして充分にくだくので、腸全体は細く、長くなっています。そのために第3胃にははくだかれてあるていど消化したもののしか進めないようなしくみに

なっています。ビニールは軟いようですが、胃液にあうと少し硬くなりますからなおさら進めません。また、わらと違うビニールをキリンの歯列ではかみきることはできません。こうして長い間にたまったビニール菓子袋が胃内に充満して消化障害をおこしていたのです。

どうか皆さん、動物たちにこうした菓子袋や異物を与えないようにして下さい。

このキリンのお母さんは地下でメリーちゃんが立派に成長することを祈っていることでしょう。

(松岡 恵爾)



胃から出てきたビニール菓子袋の山

キリンを育てて

私がキリンの飼育をてがけるようになったのは約9年前からで、ちょうど今のキリンの親が入園してきたときでした。これまで天王寺動物園に入ったキリンは大変短命に終わっていたので、何とか長生きさせ繁殖を計りたいと決心して一生懸命やってきました。

キリンは、アフリカ産の他の反雑獣よりはるかに冬の寒さに弱く、特に風をきらいます。だから冬の気温には充分注意し、その日、屋外運動場に出すかどうかとか、夜間の室温の調整に注意を払います。冬の室温は14°Cにしています。日本の真夏のむし暑さも苦手のように、日蔭も必要です。

キリンは臆病で敏感かつ弱い動物であるということはすでに御承知だと思います。キリンの日常の動作をよく観察することが大切です。それで、寝室から運動場に出すときには、運動場に異常がないかどうかよく点検します。次にキリンの目の張り、注意力、活発性や反雑の状態をよく見ます。又、外傷や寝ちがいの足の故障がないかを見ます。キリンでも他の動物でも、体重の重い動物は足の病気が致命傷となることが多いので常に注意が必要です。

次に餌ですが、1年ほど前から固形飼料(ペレット)に切りかえました。しかし、できるだけ多種類の餌を与えるほうがよいようで、馬鈴薯、人参、玉ねぎ、むした大豆、オカラ、カルシウム、塩も与えています。

餌の与え方ですが、春は濃厚飼料(ペレット、家畜配合飼料など)を少なくします。春の青草を早やめにやると失敗することが多いので、徐々に増やすように心がけます。夏は濃厚飼料を少な

く、青草、人参、根菜類を多く与えます。秋もだいたい夏と同じですが、秋になると新鮮な草が少なくなるので、濃厚飼料を増やしてやるようになります。

冬は、濃厚飼料を多く与えます。特にヌカやフスマなどを多く与えます。又、冬は運動が不足になりがちで、水も多く飲まないようになるのですが、それだからといって濃厚飼料を減らしてはなりません。キリンの飼育もちょうど田畑の麦のようなもので、麦は寒に肥料をやらなければ大きくなれないのと同様に、冬にどんどん食い込ましておかねばなりません。私はキリンには特にその感を深くしました。

餌は朝夕2回に分けて、朝に4分、夕に6分量を与えました。必ず1頭1頭を分けて与え、その日その日の食べぶりを見るのが健康状態を見るキーポイントになるのではないのでしょうか。

キリンでも他の動物でも、健康なものは、毛に光沢ができて美しくなります。キリンはコーヒー色になり、あみ目がうき出てきます。又、胸前もガッチリしてたくましくなります。

キリンのお母さんは、不幸なことに死亡しましたが、第1子のキリーちゃんがたくましく成長し、うまくゆくと来年5月におめでたの予定です。私は初孫をみる日がたのしみでがんばりたいと思います。(秦松 好雄)

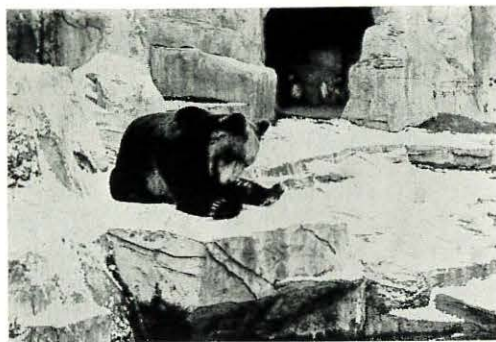
なきごえ 3月号もくじ

キリンの死をいたむ	2
キリンを育てて	3
動物園グラフ	4.5
ツルの渡来地を訪ねて	6
動物園ニュース	7

動物園グラフ

“雪の日の動物たち”

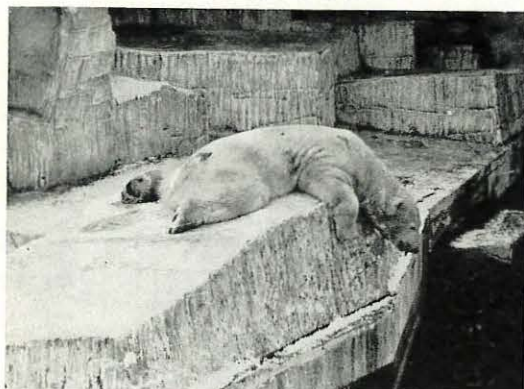
この冬は大変寒く、2月には毎日雪が降る日が続きました。こんなときは動物はどうして過ごしているでしょう。皆さんには珍しい雪の日の動物たちを御紹介しましょう。



↑ ヒグマ

雪が大変なつかしいのか雪の上をころげまわったり、体をこすりつけたりしていました。

シロクマ↓



←カモシカ放飼園

一面の銀世界です。
ハナシカも寒そうです。



←ヒトコブラクダ

暑いサバクから来たラクダさん雪をそっとなめています。



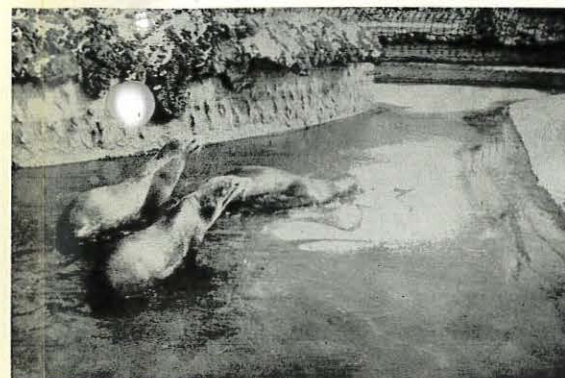
↑ クロサイ

吹雪にも元気に外で走りまわっています。



←クジャク

長くのびた美しい尾の上にも春の淡雪がつもりました。



↑ アシカ

氷のはった池にとびこんで元気一パイ

シラサギ

↓ 雪の白さとくらべっこ。どちらも白いなあー。



トラ 雪なんか平気。広い運動場で
はしゃぎまわっています。

日本庭園 →

恐竜の背中にも白いわたぼうし。
ハクチョウは静かに水面をすべっていました。



2月動物園日記

1. トラに赤ちゃんが2頭も生まれましたが、興奮した母親が食べてしまいました。カバのおすが入園しました。
5. 酷寒期を迎えて老令のエミューにパネルヒーターをひいてやりました。
6. マレージャこうねこに3匹の赤ちゃんが生まれました。キリンの母親が生後6カ月の赤ちゃんを残して死にました。
7. キリンの解剖を行いましたら、胃の中からたくさんビニール菓子袋が出てきました。

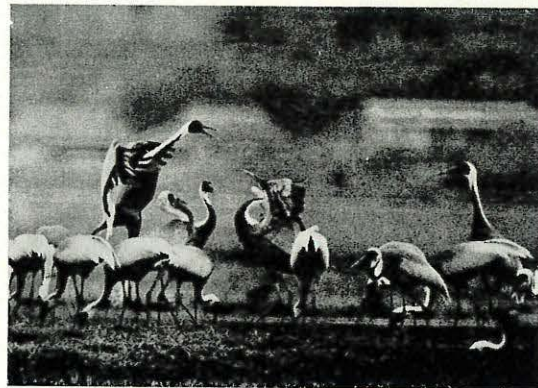
8. キリンの赤ちゃんは脱脂粉乳のミルクで育てることにしました。幸い喜んで飲みホッとさせました。
9. ピューマの赤ちゃんは動物交換のため出園しました。
10. さびしくなっていたフラミンゴ池に放すためにチリーフラミンゴ3羽が入園しました。
11. トカラウマが1頭生まれましたが、初産の母親がお乳を与えません。ひきとって人工哺乳をしましたが、5日目に惜しくも死んでしまいました。
14. 珍しいオーストラリア産のナナクサインコが一番入園しました。

15. 吹雪があり動物園は一面の銀世界となりました。
17. パーバリーゾプの仔は寒さの衰弱がひどく死亡しました
19. インドくろかもしかが季節外れのお産をしましたが、赤ちゃんは弱く死にました。さいがあやまって堀におちましたが、無事に救出しました。
24. かば舎のガラスが夜の間にこわされ、暖房中なので大急ぎで入れ替えてやりました。1頭だけ残っていたハリネズミが死にました。かばの家の屋外運動場が着工されました。又、旧かば舎の

25. トラが交尾していましたが、うまくゆくと6月13日頃にはおめでたの予定です。
26. コウノトリの巢台に新しく巢材をいれてやりました。日本庭の池でコブハクチョウが産卵し、抱いています。
29. この1週間ほど毎朝小雪のちらつく寒い日が続きましたが、やっと平年なみの暖かさになり、キリン舎の夜間暖房も中止しました。

ツルの渡来地を訪ねて

鶴は世界で14種が生息し(化石として16種)その内でもカナダヅル、アメリカ白ヅルは非常に少なく国際保護鳥として大切に守られています。日本には北海道釧路に留鳥として毎年繁殖しています。さらに山口県八代、鹿児島県出水地方に冬になると、遠く北満州及びシベリヤ地方から渡ってきていずれも特別天然記念物として保護されています。私たちは、2月5日から8日まで最も渡来数の多い鹿児島県出水地方を訪ね、生態観察、写真撮影ならびに自然保護の実体を見てきました。ここには現在なんと1673羽ものツルが渡来しており、その内約1500羽余がナベヅル、約100羽がマナヅルで今年は特に28年ぶりにタンチョウヅルが



マナヅルの群舞

一羽渡ってきており私達を喜ばしてくれました。また、クロヅルも一羽きておりました。(以前にはソデグロヅル、カナダヅルなどの渡来例があります)これらの鶴は毎年10月中旬数羽の先遣隊が渡来し11月に入るとだんだん数がふえ、このころマナヅルも渡ってきます。(ナベヅルは、マナヅルよりも遠い地方からくるため、早く来て、早く帰る)そしてこれらは荒崎のねぐら(エつけ場鶴見亭前方)を中心に冬をすごすのです。

彼等の一日は早朝日の出前いくつかのグループに分かれ、附近の干拓地や田畑でエサとなるドジョウ、フナ、貝類、麦、稲、草根をあさりながら一日をすごし、(ナベヅルは主に旧飛行場跡の田畑に、マナヅルはそのままエサ場のこのものもあり、10時頃になると、多数のツルが近くに帰ってくる)夕ぐれ近く鶴は大群をなし、帰ってくる。空が暗くなっても次々と飛んでくる姿は自然ならではのすばらしさがあります。

私たちはツルの朝夕の行動は暗くて写真はとれませんが、観察することができなんとも言えない気持ちでした。そして床に入ってからもういまでもまぶたに残りまさに鶴に酔った感じでした。ここには、ツルの他ヘラサギ、セイタカシギ、シギ、マガモ、オナガガモ、トモエガモ、ヒバリ、セキレイなどの鳥類(調べでは約200種程いるらしい)がとびかい、私達を楽しませてくれました。昔は

出水地方に限らず日本中に多くツルが分布していたのですが、人口の増加、開発などにより多くの野生動物が少なくなっていたのと同様に、ツルは出水市附近にしか渡ってこなくなりました。その理由として、まず古く1700年(元禄7年)初期荒崎干拓地が完成しこれがツルにとって最適のねぐらになり、人口密度の増加によりだんだん荒崎に集結してきたものと思われます。また出水地方は現在でもその名の示す通り非常にわき水が多く、これが天然のエサとなる魚貝類の繁殖によく、また、このような地質のため裏作ができないので人があまり立ち入らないなども関係しているものと思います。今では戦争などのため少なく

なっていたツルも年々増加しはじめ、(S31年300羽、S13年3000羽) S41年にはようやく1000羽をこえることができました。

(不思議なことにどんなに数が少ない時でもナベヅルの一割程のマナヅルが渡来して来たそうです)これにはS27年特別天然記念物になったとはいえ地元ツル保護監視員

の方々、ならびに調査に協力した児童などのたゆまない努力を忘れてはなりません。

その一人、九州野鳥会員でもある又野末春さんは鶴の飛遊地をたえまなく回りツルの保護を訴え毎日、ドジョウ、小麦などはこんでエつけに成功されたのです。おかげでここではツルも人間をおそれず安心してエサをたべている姿が近くで観察することができます。しかしながら多くのナベヅルが飛遊する旧飛行場附近には田畑も多くツル達が、植えたばかりの小麦のウネをつぶしたり掘りおこすため、被害も少なくなく、必ずしもよろこばれてはいません。年々増加すると思われるツルのためにもなきねいりとなっているこれらの問題の対策がさげばれています。また、それらの問題をなくしてこそ現代におけるほんとの自然保護だと思います。

今年も無事にふる里に帰り、また来年多くのひなをつれて訪ねて来てくれることを祈りながらこの稿を終ります。

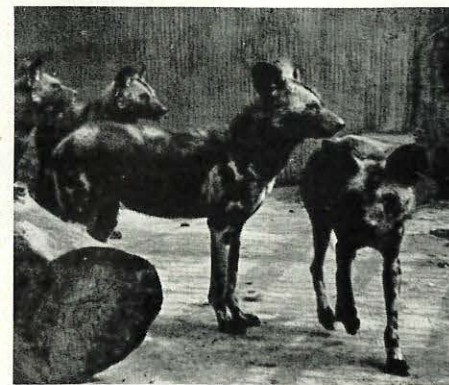
(大野尊信、東政宏、柴田恵一)

動物園ニュース

☆リカオンに花嫁さん

昭和39年12月に大阪市の姉妹都市であるサンフランシスコ市から贈られた4頭のリカオン(いずれもおす)に何とか花嫁をとかねてから捜し続けていましたが、やっとこの3月2日にアフリカのプレトリア動物園から入園してきました。

今はよりぬきのおすと夫婦になって赤ちゃんが生まれるのが期待されています。



リカオン

☆園内舗装工事始まる

北園の入園者通路は未舗装で、夏や風の強い春秋などは砂ぼこりが強く、雨の日は泥んこ道となって足もとをよごすなど評判がよくなかったし、むき出した小石を動物に投げたりする不心得な入園者もあったので、これを全面舗装することになり、このほど工事にかかりました。

☆かばのおすが入園しました

新しいかばの家ができて、花むこのおこし入れをまわっていましたが、2月1日に姫路の動物園からやってきました。天王寺動物園では、戦前戦後を通じてかばがおす、めす揃ったことがなかったので、大変喜ばしいこと

です。今はまだお見合い中で、屋外運動場ができ次第一しょにして皆さんにお目見得したいと思っています。

☆動物総合慰霊祭行われる

3月20日春分の日、ようやく春らしくなってきた園内の動物慰霊碑の前で、恒例の動物総合慰霊祭が行われました。この1年間動物園で死んだ192匹の動物たちで、この中には、戦後初めての猛獣として入園したライオン^{だけし}の猛や、この前亡くなったキリンのお母さんもまつられました。動物代表として、チンパンジーのヨーコちゃんが焼香しました。また、この内容が毎日放送で放送されました。

☆春の動物園まつり行事予定

昭和43年度「春の動物園まつり」が5月1日から31日までの1カ月間行われます。

主な内容は、日曜祝日を主体に小人入場者先着1000名におみやげプレゼント、その内で抽せんにより十姉妹をプレゼントそれに毎年恒例のゾウの目方を計る会、また、キャットオシヤレショウ、犬の訓練ショウ、動物の人気投票等盛り沢山の催し物をご用意しています。

表紙の写真説明

おおさいちょう

熱帯アフリカの森林地帯の樹の上にすんでいます。果実、爬虫類、ネズミなどの小動物を食べます。さいの角のようなカブト(中は空洞)があるのでこの名があります。

先生!

運動用具はそろっておりますでしょうか?

発育ざかりの現代っ子に必要な、とび箱、鉄棒など、情操教育と体力向上の手助けをする、数々の運動用具は、そろってお

りますでしょうか、安全性をモットーとし、運動器具の製作・設置をしているのが、長い歴史を誇る堺の木下製作所です。



創業・明治37年 文部省指定工場
株式会社 木下製作所
大阪府堺市鳳中町2丁目41
TEL 0722 (62) 0341・0596

おしゃれ仲間の合ことば ミテケ・テケミ を着よう!



ミテケ

テケ

あっちの友達、こっちの友達
みんなミテケ・テケミを着ています。
色がすっごくきれいです。
あなたもミテケテケミで
おしゃれをしてみましよう。
仲間の合ことば
思いっきり、遊べる服、
内外の子供服ミテケ・テケミを着よう!!



肌着から洋服まで
シルバークソックス
内外衣料製品株式会社

なきごえ 昭和43年3月15日発行 (毎月1回15日発行) 第4巻第3号(通巻34号)

編集人/葛西 修 発行所/社団法人大阪市天王寺動物園協会

印刷所/株式会社 松村善進堂

大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 771-8401

定価 40円